

# 日立木工用集じん機

RW 350Y2

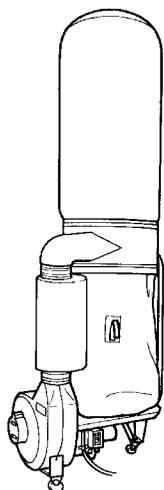
RW 500Y

## 取扱説明書

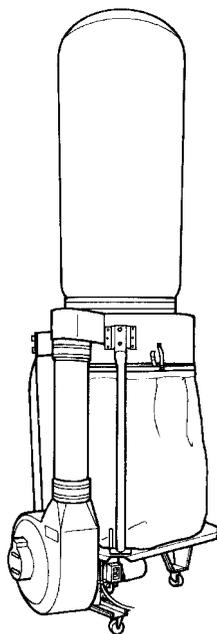
このたびは日立木工用集じん機をお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



RW 350Y2



RW 500Y

# 目 次

	ページ
集じん機の安全上のご注意	2
木工用集じん機の使用上のご注意	4
各部の名称	6
仕 様	6
標準付属品	7
別売部品	7
用 途	9
組み立て方	10
作業前の準備	14
ご使用前に	16
使 い 方	17
過負荷保護装置(サーマルプロテクタ)について	21
保守・点検	22
ご修理のときは	22
全国営業拠点	裏表紙

---

## 警告， 注意， 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「 注」の意味も説明します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。

## 集じん機の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 警 告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - 作業場は十分に明るくしてください。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 使用電源は、銘板に表示してある電圧・周波数で使用してください。
  - 表示以外の電源を使用すると、火災・感電や故障の原因になります。
- ④ 子供を近づけないでください。
  - 作業者以外、集じん機やコードに触れさせないでください。
  - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ 作業に合った集じん機を使用してください。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑥ コードを乱暴に扱わないでください。
  - コードを持って集じん機を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。
  - また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。
- ⑦ 集じん機は、注意深く手入れをしてください。
  - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  - 継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ⑧ 次の場合は、集じん機のスイッチを切り、元の電源をOFFにしてください。
  - 使用しない、または、修理する場合。
  - ホース、フィルターなどの付属品を交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。



## 警告

### ⑨ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- コードを電源に接続する前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

### ⑩ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 集じん機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 集じん機から離れて作業する場合は、集じん機の運転状況（異常音、粉じん吹出し、発煙など）に十分注意しながら作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

### ⑪ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。  
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない集じん機は、使用しないでください。

### ⑫ 集じん機の修理は、専門店で依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにお申し付けください。  
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

# 木工用集じん機の使用上のご注意

先に集じん機として共通の注意事項を述べましたが、木工用集じん機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## 警 告

- ① **必ずアース(接地)してください。**  
故障や漏電などのとき、感電の恐れがあります。  
(詳細は、14 ページの「2. アース(接地)、漏電しゃ断器の確認」の項をご参照ください。)
- ② **吸込口・吐出口には手などを入れたり、近づけないでください。**  
吸込口・吐出口の内部にはファンがあり、回転中に手などを入れたり、近づけると巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ **きちんとした服装で作業してください。**
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ④ **保護メガネを使用してください。**
  - ブロフ作業時は、保護メガネを使用し、防じんマスクを併用してください。
- ⑤ **保護カバーは、はずしたり、上げて固定したりしないでください。**
  - けがの原因になります。
- ⑥ **保護カバーが、円滑に動くことを確認してください。**
- ⑦ **ホースおよびダストバッグ、フィルタバッグの着脱は、ファンの回転が停止したことを確認してから行なってください。**  
けがの原因になります。
- ⑧ **以下のものは吸わせないでください。**
  - 水、油などの液体。
  - 金属の研削、切断作業時に発生する研削火花。
  - 火のついた、たばこの吸いがらなど高温の物。
  - 引火性物質(ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など)、爆発性物質(ニトログリセリンなど)、発火性物質(アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど)。
  - 釘、カミソリの刃など鋭利な物。
  - 木片、金属、石など。
  - セメント粉・トナーなど固化するものや、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じん。  
また、可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。  
火災やけがの原因になります。
- ⑨ **本体に水や油などをかけたりしないでください。**  
本機は防水構造ではないため、感電や故障の原因になります。

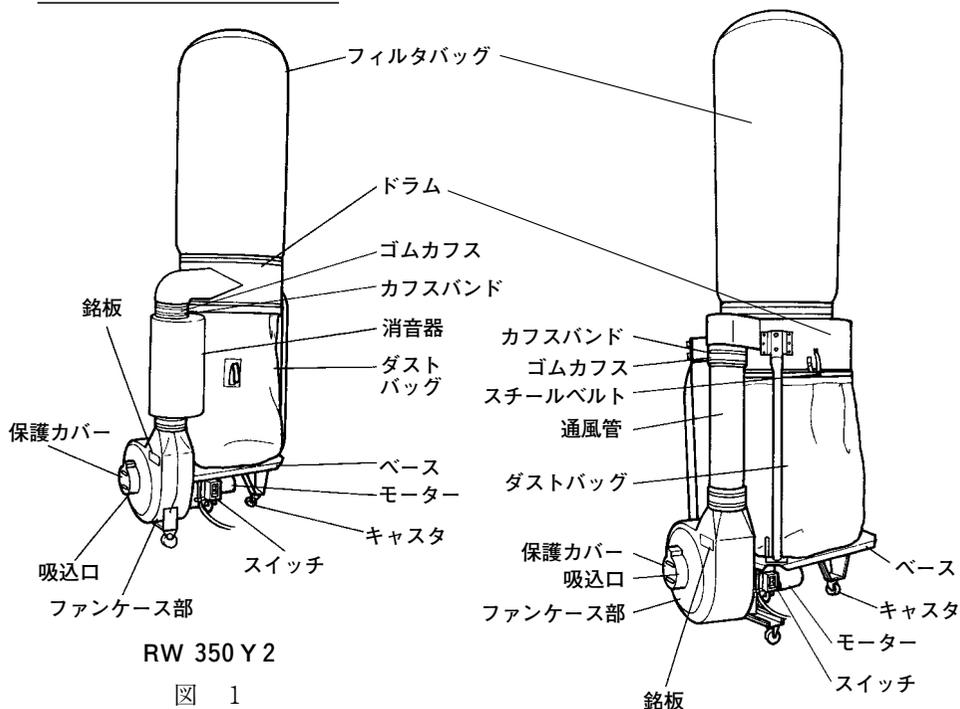
 **警 告**

- ⑩ **本体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。**  
感電や故障の原因になります。
- ⑪ **転倒などによる本体の変形、破損防止のため、本体の移動は静かにしてください。**  
破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。
- ⑫ **誤って落したり，ぶつけたときは，機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。**  
破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。
- ⑬ **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**  
そのまま使用していると，けがの原因になります。
- ⑭ **継ぎ(延長)コードを使用するときは，アース線を備えた4心キャブタイヤケーブルを使用してください。**  
アース線のない3心コードですと，感電の原因になります。
- ⑮ **本機は屋内用です。決して屋外で使用しないようにしてください。**  
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

 **注 意**

- ① **本体の上には，重量物を置かないでください。**  
機械の故障や，移動の際，事故の原因になります。

# 各部の名称



RW 350 Y 2

図 1

RW 500 Y

図 2

# 仕 様

	RW 350 Y 2		RW 500 Y	
	50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz
電源周波数	50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz
使用電源	200 V			
モーター	全閉外扇形 2200 W・2 極		全閉外扇形 3700 W・2 極	
電 流	7.9 A	7.7 A	12.6 A	14.1 A
最大風量*	36 m <sup>3</sup> /min		43 m <sup>3</sup> /min	50 m <sup>3</sup> /min
最大真空度	2.75 kPa { 280 mm水柱}	3.14 kPa { 320 mm水柱}	2.67 kPa { 272 mm水柱}	3.14 kPa { 320 mm水柱}
吸込口外径	150 mm		200 mm	
集じん容量	200 L		450 L	
質 量	75 kg		120 kg	
機 体 寸 法	幅 980×奥行 600×高さ 2720 mm		幅 1130×奥行 780×高さ 3300 mm	
コ ー ド	プラグ付 4 心キャブタイヤケーブル 3.5 m			
ホース最大接続長さ	5 m			

\* 最大風量はホースを接続しないで、保護カバーを開けた状態での吸込口の風量です。

※ 50 Hz 地区用と 60 Hz 地区用は仕様が異なります。

銘板を確認のうえご使用ください。

## 標準付属品

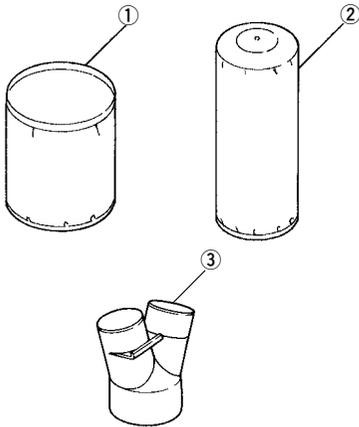


図 3

① ダストバッグ…………… 1 個

② フィルタバッグ…………… 1 個

(RW 350 Y2 と RW 500 Y ではサイズが異なります。)

③ 二口分岐管…………… 1 個

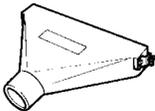
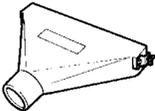
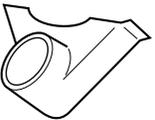
( $\phi$  150 -  $\phi$  100)

(二口分岐管は RW 350 Y2 のみの標準付属品です。)

## 別売部品

…………… (別売部品は生産を打ち切る場合があります。)

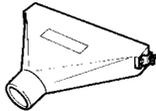
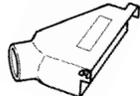
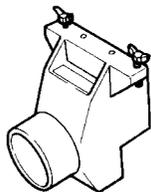
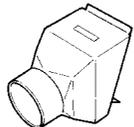
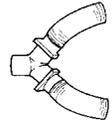
### (1) 木材加工用機械からの集じん，搬送作業用フード (150 mm ホース用)

形 状	品 名	コードNo	適 用 機 種
 * 1	自動かんな部用フード	313391	PU 150 FB, P 150 FB
		309172	P 170 R
 * 2	手押かんな部用フード	313390	PU 150 FB, P 150 FB
		306468	P 170 F
	昇降盤用フード	313392	PU 150 FB, P 150 FB

\* 1 の図は，コードNo 313391 を示します。

\* 2 の図は，コードNo 306468 を示します。

(2) 木材加工用機械からの集じん，搬送作業用フード（100 mmホース用）

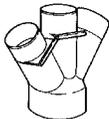
形 状	品 名	コードNo	適 用 機 種
 * 3	P 40 F自動かんな部用フード	976537	P40 F, P50 F, P50 FA, F-400, F-504 B, F-505 B
	F-504 自動かんな部用フード	976539	F-504, F-505, F-504 A, F-505 A
	P 80 F自動かんな部用フード	976536	P80 F, F-800, F-800 A, F-800 B
	F-1000 A自動かんな部用フード	976522	F-1000, P100 FA～FD, F-1000 A, F-1001
	P 100 FF自動かんな部用フード	976547	P100 FF～P100 RH, P100 RK, P100 RL P100 RM, P100 FA 1～P100 FD 1 P100 FF 2, P100 RF 2
 * 4	PU100 F自動かんな部用フード	976525	PU 100 F, A-1000
	A-800 自動かんな部用フード	976542	A-800, A-800 A, A-801
	A-1500 A自動かんな部用フード	976524	A-1500, A-1500 A, F-1500 PU 150 F, P150 F, PU 150 FA, P150 FA
	A-1501 自動かんな部用フード	976523	A-1501, F-1501
	A-1300 B自動かんな部用フード	976541	A-1300 B, F-1300 B
 * 5	A-1300 自動かんな部用フード	976540	A-1300, A-1300 A, F-1300, F-1300 A
	P 100 RA自動かんな部用フード	303891	P100 RA, P100 R, P100 RA 2 P100 R 2, P100 RA 3, P100 R 3 P100 LA, P100 L, P100 LA 2
 * 5	手押かんな部用フード	976543	P40 F, P50 F, P50 FA, P80 F P100 FF～P100 RH, F-504 A, F-505 A F-800 A, F-504, F-505, F-800, F-504 B F-1000, F-400, F-505 B, F-800 B P100 FA～FD, P100 FA 1～P100 FD 1 F-1000 A, F-1001, P100 FF 2, P100 RF 2
		310057	P100 RK
		315744	P100 RL, P100 RM
		305647	P100 RA, P100 RA 2, P100 RA 3 P100 LA, P100 LA 2
		305648	P50 R
		978909	PU150 F, P150 F, PU150 FA, P150 FA A-1500, A-1500 A, F-1500
	GA-200 A用フード	976538	GA-200 A
	PG 21 R用ホースセット	310133	PG 21 R, P50 RA

\* 3の図は，コードNo.976547を示します。

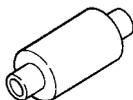
\* 4の図は，コードNo.976540を示します。

\* 5の図は，コードNo.976543を示します。

### (3) 分岐管(集じん機吸込口用)

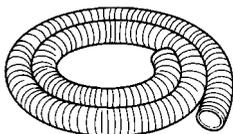
形 状	品 名	コードNo.	適 用 機 種
	三口分岐管 ( $\phi 200 - \phi 100$ )	307325	RW 500 Y
	二口分岐管 ( $\phi 200 - \phi 150$ )	307324	RW 500 Y

### (4) 消音器



コードNo.	適 用 機 種
307323	RW 500 Y

### (5) ホース



呼 径	長 さ	コードNo.	用 途
150mm	5 m	307348	木材加工用機械
100mm	5 m	959675	集じん用

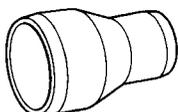
### (6) ホースバンド



ホースの接続部に使用します。確実な固定が行なえます。

呼 径	適 用ホース	コードNo.
150mm	150mm	306051
100mm	100mm	306049

### (7) アダプタ 75



100mm ホースを他社製木材加工用機械のフード75mmに接続できます。

コードNo.
305458

### (8) ポリ袋(使い捨て用)



コードNo.	適 用 機 種
311820	RW 350 Y 2

## 用 途

- 各種木材加工用機械から排出される切りくずの集じん
- 作業場の切りくずの清掃, 集じん

# 組み立て方

## 1. RW 350 Y 2 の組み立て方……………

この製品は、分解状態で梱包されています。まず、下記の部品が梱包されているのを確認してから、必要工具を準備して組立ててください。

No.	数量	部 品 名	No.	数量	部 品 名
①	1	ドラム	⑪	3	ナットM 8
②	1	プレート支柱	⑭	1	消音器
③	1	パイプ支柱	⑮	2	ゴムカフス
④, ⑧, ⑫	8	ボルトM 8 × 20	⑯	4	カフスバンド
⑤, ⑩, ⑬	8	スプリングワッシャD 8	⑰	1	フィルタバッグ
⑥, ⑨	7	ボルトワッシャD 8	⑱	1	ダストバッグ
⑦	1	ベース			

必要工具 13mmスパナ2個、プラスドライバー1個

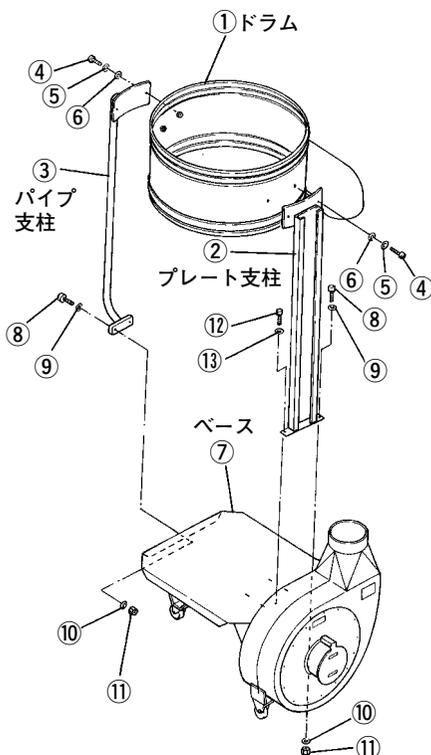


図 4

(1) ドラム①とプレート支柱②、パイプ支柱③をボルトM 8 × 20 ④、スプリングワッシャD 8 ⑤、ボルトワッシャD 8 ⑥で4カ所を仮固定します。

(2) ドラムと支柱をベース⑦の上に乗せ、ボルトM 8 × 20 ⑧、ボルトワッシャD 8 ⑨、スプリングワッシャD 8 ⑩、ナットM 8 ⑪で3カ所を仮固定します。

次に、ボルトM 8 × 20 ⑫、スプリングワッシャD 8 ⑬を1カ所を仮固定します。

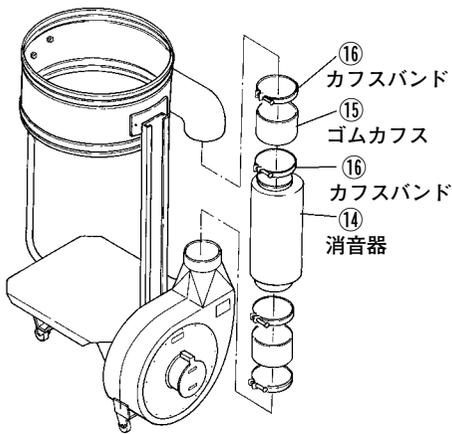


図 5

(3) 消音器⑭の両端にゴムカフス⑮をはめ込みます。次にカフスバンド⑯をそれぞれのゴムカフス⑮に2個通しておき、矢印Aのように本体へはめ込みます。はめ込みの際は、全長寸法をきつくしているため、ゴムカフス⑮を変形させながら組み立ててください。

ゴムカフス⑮を矢印B方向にずらし、カフスバンド⑯で4カ所を固定します。

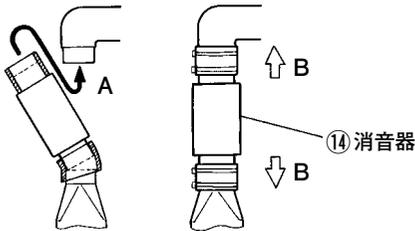


図 6

(4) 前記の(1)と(2)で仮固定しておいた各ボルト、ナットを確実に締付け直します。

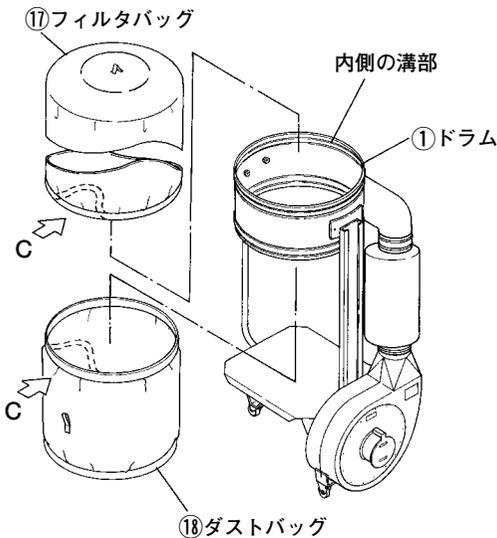


図 7

(5) フィルタバッグ⑰，ダストバッグ⑱を図6の矢印Cの方向に押し、口元のスプリング部を変形させて、ドラム①の内側の溝部にはめ込んで組み立て完了です。

## 2. RW 500 Y の組み立て方…………

この製品は、分解状態で梱包されています。まず、下記の部品が梱包されているのを確認してから、必要工具を準備して組み立ててください。

No.	数量	部 品 名	No.	数量	部 品 名
①	1	ドラム	⑦	1	ベース
②	3	支柱	⑫	1	通風管
③, ⑧	12	ボルトM 12 × 30	⑬	2	ゴムカフス
④, ⑨	12	ボルトワッシャD 12	⑭	4	カフスバンド
⑤, ⑩	12	スプリングワッシャD 12	⑮	1	フィルタバッグ
⑥, ⑪	12	ナットM 12	⑯	1	ダストバッグ

必要工具 19 mmスパナ 2個, プラスドライバー 1個

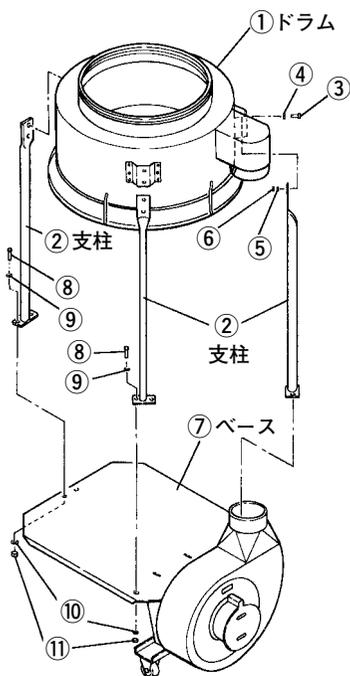


図 8

(1) ドラム①と支柱②をボルトM 12 × 30 ③, ボルトワッシャD 12 ④, スプリングワッシャD 12 ⑤, ナットM 12 ⑥で6カ所を仮固定します。

(2) ドラムと支柱をベース⑦の上に乗せ, ボルトM 12 × 30 ⑧, ボルトワッシャD 12 ⑨, スプリングワッシャD 12 ⑩, ナットM 12 ⑪で6カ所を仮固定します。

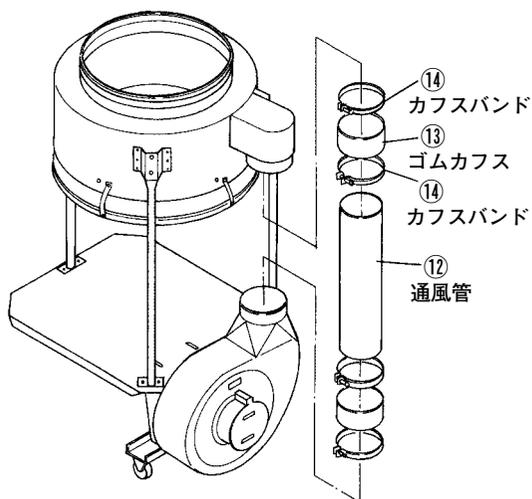


図 9

(3) 通風管⑫にゴムカフス⑬を両端に2個はめ込みます。同時にカフスバンド⑭を4個はめ込みます。

(4) 通風管をベースとドラムの接続口に合わせ、ゴムカフスを上下に止まるまでずらして接続します。

接続したらカフスバンドで締付け、ゴムカフスを固定します。

(5) 前記の(1)と(2)で仮固定しておいた各ボルト、ナットを確実に締付け直します。

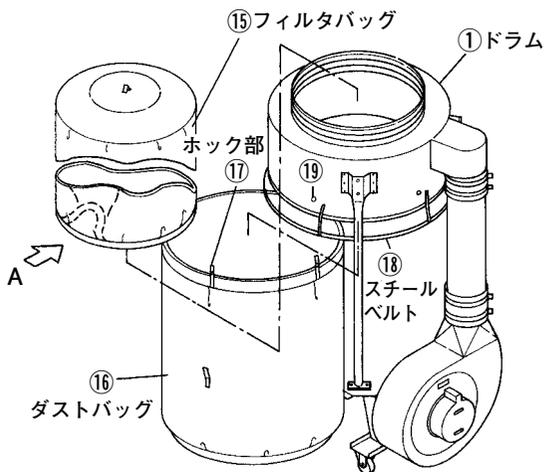


図 10

(6) フィルタバック⑮を図9の矢印Aの方向に押し、スプリング部を変形させて、ドラム①の内側の溝部にはめ込みます。

(7) ダストバッグ⑯のホック部⑰をスチールベルト⑱の内側にくぐらせて、カメノコウボルト⑲に5カ所をはめ込みます。

(8) スチールベルト⑱のクランプを固定して組み立て完了です。

# 作業前の準備

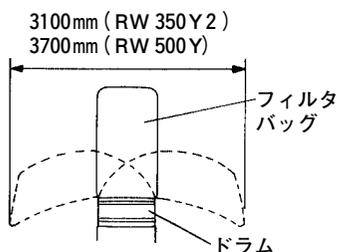
用途に合わせて、別売部品の準備をすませてください。(ご相談は最寄りの日立電動工具販売店、日立工機電動工具センターにご遠慮なくお問い合わせください。)

別売部品の準備がお済みになりましたら、次の準備をすませてください。

## 1. 本機の使用場所……………

### ⚠ 警告

●本機は屋内用です。決して屋外で使用しないようにしてください。



本機には移動用のキャスタが付いています。本機が勝手に移動しないように、傾斜のない平坦な場所でご使用ください。

また、運転を開始するときや停止するときには、フィルタバッグが左図の範囲でふくらんだり、しぼんだりしますので、設置場所の周囲にご注意ください。

## 2. アース(接地)、漏電しゃ断器の確認……………

ご使用にさきだち、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置(以下、漏電しゃ断器と言います)が設置されていることを確認してください。

また、本機は必ずアース(接地)をしてください。定格感度電流 15 mA以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアースされるようおすすめします。

アースをするときは、コードのミドリ色の線をご使用ください。アース線は、念のために異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、コードのミドリ色の線と本機金属外枠との間の導通を確認してください。

地中に接地極(アース板、アース棒)を埋め、アース線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。

なお、アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがありますので、絶対にしないでください。

漏電しゃ断器やアース(接地)については、次の法規がありますので、ご参照ください。

労働安全衛生規則 (第 333 条, 第 334 条)

電気設備の技術基準 (第 18 条, 第 28 条, 第 41 条)

### 3. 継ぎ(延長)コード……………



#### 警 告

- 継ぎ(延長)コードは、損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	RW 350Y2	RW 500Y
2.0 mm <sup>2</sup>	30 m	—
3.5 mm <sup>2</sup>	60 m	30 m
5.5 mm <sup>2</sup>	90 m	45 m

左の表は、本機に継ぐことのできるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示します。

漏電しゃ断器が設置されていない電源の場合は、必ずアース(接地)できる接地用の1心をもつ4心キャブタイヤケーブルをお使いください。

### 4. 作業環境の整備・確認……………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

#### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

# ご使用前に



## 警 告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～3項については、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

### 1. 使用電源を確かめる……………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用すると、モーター焼損の恐れがあります。また、本機は交流電源でご使用ください。

直流電源で使用するとモーターが焼損する原因になります。

### 2. 使用周波数を確かめる……………

本機は 50, 60 Hz 別仕様になっています。銘板に表示してある周波数を確認のうえご使用ください。

### 3. スイッチが切れていることを確かめる……………

スイッチが入っているの知らずにさし込みプラグを電源コンセントにさし込むと不意に起動し、思わぬ事故のもとになります。

### 4. 電源コンセントの点検……………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

### 5. 回転方向の確認……………



## 注 意

- 逆回転で使用するとファン損傷、過電流によるショート・発火の恐れがあるため、必ず正しい回転方向になっていることを確認してください。

吸込口に表示してある回転方向と反対に回る場合があります。この場合は、一度電源を切ってからコードのアース線を除く3線のうち2本をつなぎかえてください。

つなぎかえは、コードのR相とT相（赤線と黒線）を接続替えて、正回転にしてください。

# 使 い 方

## 警 告

- 木材加工用機械から排出される切りくず以外は吸わせないでください。また、金属、石、ほぞ取りから排出される木片などや火花を含む粉じんは吸わせないでください。  
けがの原因や火災の恐れがあります。
- 誤って木片を吸込んだ場合、ファンの損傷を確認してください。ファンが損傷すると、バランスが狂います。そのままの状態で使用しているとモーターが損傷し、けがの原因や火災の恐れがあります。ファンが損傷した場合は速やかに交換するように、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

## 注 意

- 超仕上げかな盤の切りくずや、ひもなど長いものを吸わせないでください。ファンが破損する原因になります。
- 弊社製品に合わせた別売部品（7～9ページを参照）を準備していますので、適用機種に合わせた各フードを使用してください。  
適用以外の機種に使用すると、事故の原因になります。

**注** • もみがらは吸わないでください。

摩耗の原因になります。

- 最初に木工用集じん機のスイッチを入れ、次に木工機械のスイッチを入れて、回転が十分に上がってから作業してください。回転が上がっていませんと、切りくずがホースにつまってしまいます。
- 湿った材料の切りくずは木工機械を軽負荷でお使いください。切りくずづまりの原因になります。
- 万能木工機械の集じん作業時は、万能木工機械を必ず軽負荷（少ない切込み量）でお使いください。万能木工機械から排出される切りくずが大きい場合、吸い込みが悪くなり、切りくずづまりの原因になります。

## 1. 集じん作業……………

## 警 告

- ホースおよびダストバッグの着脱は、スイッチOFF（切）の状態で行なってください。吸込口、吐出口の内部にはファンがあり、スイッチON（入）の状態を着脱を行なうと手が巻き込まれ、けがの原因になります。

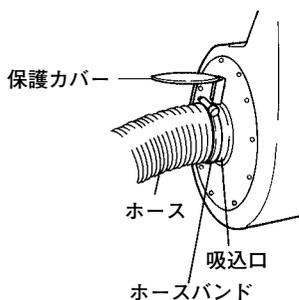


図 11

### (1) ホースの取付け

保護カバーを持ち上げてから吸込口にホースを取付けます。取付けの際、ホースの抜け防止のため、ホースをホースバンド(9ページ参照)で固定することをおすすめします。

**注** ・ホース(別売部品)の最大接続長さは5mまでにしてください。5m以上のホースをお使いになりますと、切りくずづまりの原因になります。

### (2) フィルタバッグの取付け確認

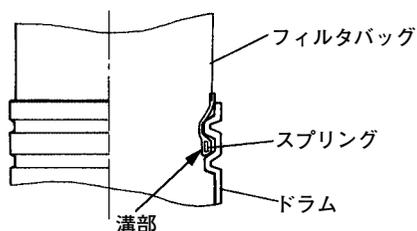


図 12

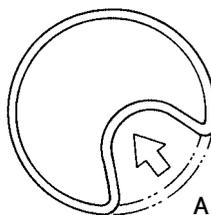


図 13

スプリング部は図13のように矢印Aの方向に変形させてドラムの内側の溝部にはめ込みます。はめ込んだ後、スプリングがドラムの内側に密着していることを確認してください。

### (3) ダストバッグの取付け確認

- RW 350Y2 は上記のフィルタバッグと同じように取付け確認してください。
- RW 500Y は、13ページの(7)項を参照し、取付け確認してください。

### (4) スイッチの操作

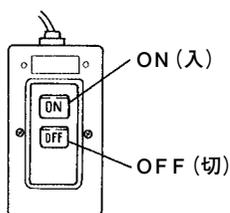


図 14

スイッチは「ON」のボタンを押すと入り、「OFF」のボタンを押すと切れます。

スイッチを入れて回転が十分に上がって安定してから、集じん作業を行ないます。

### (5) 切りくずの捨て方

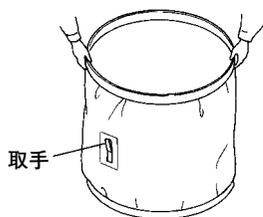


図 15

ダストバッグをドラムからはずし、左図の持ち方、または取手を持ち、切りくずを処理する場所まで運び、処理します。

**注** ・切りくずは早めに捨ててください。  
ダストバッグが満杯になると、切りくずがドラム、ホースにつまる原因になります。

## 2. 分岐管の使用例……………

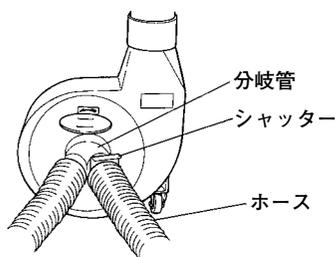


図 16

本体吸込口に取付け、2本または3本のホースを接続し、シャッターの出し入れにより、どちらか一方ずつの集じんにお使いください。

## 3. 消音器 (RW 500Y の別売部品) の組み立て方……………

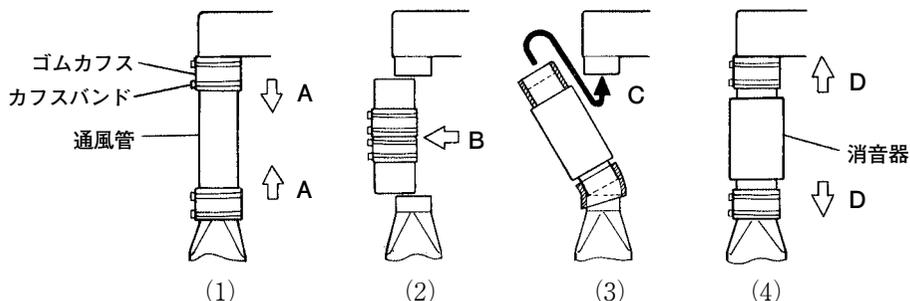


図 17

- (1) カフスバンドを4カ所ゆるめ、ゴムカフス2個を矢印Aの方向にずらします。
- (2) 通風管を矢印B方向にはずします。
- (3) 消音器に(1)ではずしたゴムカフス2個を両端にはめ込みます。同時にカフスバンドを各2個はめ込み、矢印Cのようにはめ込みます。はめ込みの際は、全長寸法をきつくしているため、ゴムカフスを変形させながら組み立ててください。
- (4) ゴムカフスを矢印D方向にずらし、カフスバンドを4カ所固定します。

#### 4. ポリ袋(使い捨て用) [RW 350Y2 の別売部品] の取付け方…

### ⚠ 警告

- ポリ袋は単品で使用せず、必ずダストバッグの内側に入れて使用してください。  
単品で使用すると破損などにより、けがの原因になります。

**注** • ポリ袋を使用すると性能が約30%低下します。

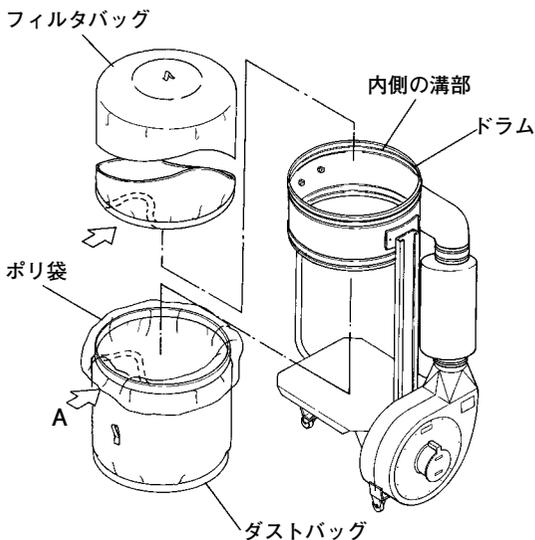


図 18

- (1) ダストバッグ装着時、ダストバッグの内側にポリ袋を入れ、端部を外に引き出します。
- (2) ダストバッグを図18の矢印Aの方向に押し、口元のスプリング部を変形させて、ドラムの内側の溝部にはめ込んで完了です。

### 【断面図】

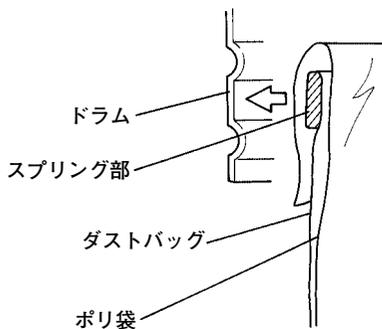


図 19

# 過負荷保護装置(サーマルプロテクタ)について

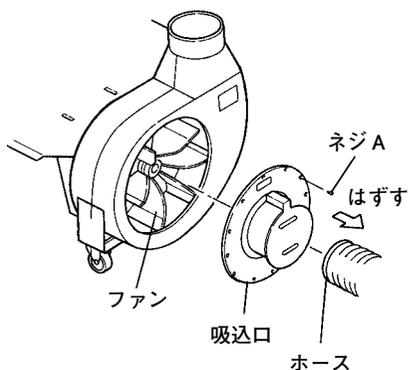
## ⚠ 警告

- 吸込口の取付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いておいてください。  
スイッチを切らないで作業をすると、ファンが不意に回り出し、けがの原因になります。
  - 異物を取り除いた後、ファンの損傷を確認してください。ファンが損傷すると、バランスが狂います。そのままの状態で使用しているとモーターが損傷し、けがの原因や火災の恐れがあります。  
ファンが損傷した場合は速やかに交換するように、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- ( 50Hz地区と60Hz地区ではファンの仕様が変わりますので、  
銘板記載の周波数を確認してください。 )

過負荷保護装置は、スイッチに内蔵されています。

本機は、ファンなどに異物がつまって過負荷状態になると、過負荷保護装置(サーマルプロテクタ)が作動し、自動的にスイッチが「OFF」(切)になり、本体が運転を停止します。

○停止した際は、次の手順で異物を取り除いてください。



- (1) スイッチが「OFF」(切)になっていることを確認し、さし込みプラグを電源コンセントから抜きます。
- (2) ホースを本体からはずします。
- (3) ネジA (RW 350 Y 2 は 12 本, RW 500 Y は 8 本) をゆるめて、吸込口をはずします。
- (4) 異物を取り除きます。
- (5) 吸込口をネジAで取付けます。

図 20

○次の手順で行ない、運転してください。

- (1) ホースを本体に取付けます。
- (2) さし込みプラグを電源コンセントにさし込みます。
- (3) スイッチの「ON」(入) ボタンを押します。

# 保守・点検



## 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いておいてください。
- ぬれた手で作業しないでください。感電やけがの原因になります。

### 1. ダストバッグの点検……………

ダストバッグは切りくずにより目づまりを起こしますと、集じん効率が悪くなるので定期的にちり落しを行なってください。

### 2. 各部取付けネジの点検……………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。  
ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

### 3. 製品や付属品の保管……………

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- |   |  |   |                     |
|---|--|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none"><li>○ お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所</li><li>○ 軒先など雨が降ったり、湿気のある場所</li><li>○ 温度が急変する場所</li><li>○ 直射日光の当たる場所</li><li>○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所</li></ul> | } | このような場所<br>には保管しない。 |
|---|--|---|---------------------|

## ご修理のときは

この機体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼される時便利です。

お買い上げ日	年	月	日	販売店
製造番号(No.)				電話番号

- 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

### ● 全国営業拠点

第一営業部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)	☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目(日生ビル)	☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)	☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号(コスモ栄ビル)	☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0031	金沢市広岡二丁目13番37号(ST金沢ビル)	☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号(スノークリスタル)	☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号(第一生命ビル)	☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981	☎(087) 841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5772(代)

- 電動工具ご相談窓口 — お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター  0120-20 8822 (無料)

※携帯電話からはご利用になれません。(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

# 日立工機株式会社